



消石灰系仕上材

ALESSHIKKUI

アレスシッコイ 外部用

「喰 漆」を活かす「アレスシッコイ」

大切なものを護る新たな“シッコイ”がここに 있습니다。



関西ペイント

その“^{しっくい}漆喰壁” アレスシッコイで 塗り替えませんか？

いにしえより日本に伝わる伝統的な壁塗材である“漆喰”は、自然素材独特の風合いと質感に加え、主成分である消石灰（水酸化カルシウム）の効果によるさまざまな機能を有しています。漆喰塗料『アレスシッコイ（外部用）』は、この優れた自然素材である「漆喰」の機能をそのままに、高度な左官技術を必要としない、取り扱いやすい、いわば「塗料状態化した漆喰」です。ぐんと身近に手軽になった「シッコイ壁」を、是非お試しください。

漆喰
塗料

消石灰系仕上材

ALESSHIKKUI

アレスシッコイ 外部用

漆喰に近づく、漆喰を超える。
そして、『アレスシッコイ』へ





特長 1

ハケ・ローラーでの
施工が容易です。



特長 2

低臭で揮発性有機化合物を
ほとんど含みません。

(TVOC 0.01% 以下)



特長 3

燃えにくく
防火機能に優れています。



特長 4

消石灰が有する
吸湿機能により
結露抑制に有効です。

これまで「漆喰壁」を塗り替える場合、決定打になる仕様がありませんでした。しかし、これからは「漆喰塗料アレスシックイ（外部用）」です。

漆喰本来の良さを見直し、風合いを損なうことなく、優れた機能性を最大限に発揮した画期的な壁塗材です。ハケやローラーによる一般的な塗装方法で施工が可能です。広範囲に手軽に漆喰壁が再現できます。





消石灰系仕上材

ALESSHIKKUI
アレシクイ 外部用

部 位：漆喰仕上面(外部)など
塗装仕様：消石灰系仕上げ塗材

品名：アレシクイ(外部用)
色：ホワイト
容量：15kg・4kg

工程	塗料と処置	標準所要量 (kg/m ² /回)	塗り重ね乾燥時間 (23°C)	塗装方法	希釈率 (重量%)
1 素地調整	表面のゴミ・汚れなどは、ワイヤーブラシ・サンドペーパー・ウエスを使用して除去し、乾燥した清浄な面とする。(pH10以下、含水率8%以下とする。)				
2 含浸塗り	アレシクイ外部用含浸シーラー ベース/硬化剤=4/1	0.20~0.40	16時間以上7日以内	刷毛/ローラー	0
3 中塗り	アレシクイ外部用バインダー/上水	0.12	2時間以上7日以内	刷毛/ローラー	3~10
4 上塗り(1回目)	アレシクイ(外部用)/上水	0.16	4時間以上7日以内	刷毛/ローラー	5~10
5 上塗り(2回目)	アレシクイ(外部用)/上水	0.20	—	刷毛/ローラー	5~10

- (注) (1) 標準所要量は、個々の条件により異なり増減します。特に含浸シーラーは、増減幅が大きいのでご注意ください。
(2) 上塗りの標準塗りつけ量は、1回目0.12(kg/m²/回) 2回目0.15(kg/m²/回)です。
(3) 色相は「ホワイト」のみです。(調色は行いません)

製品取り扱い上の注意事項(安全衛生他)

施工時の注意事項

塗装時の注意事項

- 含浸塗りとして、漆喰仕上げ面にアレシクイ外部用含浸シーラーを均一に塗装して下さい。表面が濡れ色になるまで充分に塗りこんで下さい(追っかけて1~2回)。外部用バインダー塗装前にセロテープなどを貼り付けセロテープに白い粉が付かない事を確認して下さい。万一、セロテープに粉が付くような状態の場合、アレシクイ外部用含浸シーラーを増し塗りし、セロテープに白い粉が付かない状態にして下さい。
- 含浸塗りとしてアレシクイ含浸シーラーのほか、浸透形シーラーも使用できます。
- 中塗りのアレシクイ外部用バインダー塗装の際は、補修部を刷毛で先行扱い塗りを行い、その後ローラーで全面を塗装して下さい。バインダーの塗装は、下地を隠蔽させるようにしっかり塗り込んで下さい。
- 上塗りの先行刷毛塗りを行う際は、ナイロン刷毛を推奨します。(獣毛刷毛は使用できません)
- 上塗り用のローラーは、「WAKABA<大塚刷毛製造(株)>」または、「ハイブリッドローラー<好川産業(株)>」を推奨します。
- ローラーは使用前に十分に余り毛を除去して下さい。
- 上塗り(1回目)は、均一にEP塗りの感覚で塗装して下さい。
- 上塗り(2回目)は、下層膜の影響を受け乾燥が早いので、手早く仕上げるようにして下さい。何度でもローラーで擦ると艶が変わったり、肌が荒れたりと仕上がりを悪くする要因となります。
- 上塗り(2回目)を塗装する際は、塗り残しが発生し易いので、塗り残しの無いよう注意して塗装して下さい。
- 本品は、補修性が悪いため施工の際は十分に注意して下さい。
- アルミ製の塗装用具は、使用しないでください。
- 他の塗料との混合は絶対に行わないでください。
- 本品をシーリング面に塗装すると、変色や割れが生じる場合がありますので、塗装は避けて下さい。
- 塗装直後の降雨などにより塗料成分が溶出し、塗装部位の下部に流れ跡が発生する場合がありますので注意して下さい。

下地調整

- 被塗面を清浄な面としてください。
- 欠損部は市販の「補修用塗液」にて補修、穴埋めして下さい。

養生等

- 施工面以外に塗材が付着しないよう養生テープ・ビニールシート等で十分に養生して下さい。
- 塗装後早い時期に養生を除去して下さい。
- アレシクイ施工面に養生テープを貼る場合(逆養生)は「車両用マスキングテープNo.7239(日東電工社製)」を使用して下さい。他のテープでは、粘着材が黄色などに変色し、アレシクイ施工面に転写されるおそれがあります。

材料の保管調整

- 現場での材料保管は、室内、屋外ともシート掛けを行い、直射日光・凍結を防止し、高温(40°C以上)低温(-5°C以下)での保管は避けてください。
- アレシクイ外部用含浸シーラーは2液形です。配合比率を厳守の上ハンドミキサーでよく攪拌して均一な状態にしてからご使用ください。
- 中塗り材及び上塗り材は希釈に上水を添加後、必ずハンドミキサーを使用してよく攪拌し、均一な状態にしてください。

その他注意事項

- 低温(5°C以下)及び高湿度(85%以上)の場合は、施工を避けてください。
- 降雨が予想される場合は、施工を避けてください。
- 上記塗り重ね乾燥時間は、温度23°C・湿度50%の場合での目安です。環境条件により乾燥時間は異なりますので注意して下さい。
- モルタル、コンクリートなどのアルカリ材質は、水分8%以下pH10以下になるまで十分乾燥させてください。
- 本品取り扱い中は、充分な換気をしてください。特に低温時、密閉状態での施工は避けてください(光沢ムラが発生する場合があります)。
- 本品取り扱い中は、皮膚に付着しないように専用マスク、眼鏡、手袋等保護具を着用して下さい。(本品は高アルカリのため、皮膚の薬傷、目の損傷を生じることがあります。)

ご使用上の注意事項

■製品取り扱い上の注意事項(安全衛生他)

- 安全・衛生に注意し、正しく製品をご使用いただくために、特に下記の事項を守ってください。

予 防 策

- 取り扱い作業中・乾燥中ともに換気のよい場所で使用し、粉じん・ヒューム・ガス・ミスト・蒸気・スプレーを吸入しないこと。必要な保護具(帽子・保護メガネ・マスク・手袋等)を着用し、身体に付着しないようにすること。
- 吸入に関する危険有害性情報の表示がある場合、有機ガス用防毒マスク、又は、送気マスクを着用すること。又、取り扱い作業場所には局所排気装置を設けること。
- 皮膚接触に関する危険有害性情報の表示がある場合、頭巾・えり巻きタオル・長袖の作業着・前掛けを着用すること。
- 本来の目的以外に使用しないこと。
- 指定材料以外のものとは混合(多液品の混合・希釈等)しないこと。
- 缶の取っ手を持って振ったり、取っ手をロープやフックで吊り下げたりしないこと。
- 取り扱い後は、洗顔、手洗い、うがい、及び、鼻孔洗浄を十分行うこと。
- 使用済みの容器は、火気、溶接、加熱を避けること。
- 本品の付いた布類や本品のかす等は水に浸して処分すること。

対 応

- 目に入った場合：直ちに、多量の水で洗うとともに医師の診察を受けること。
 - 皮膚に付着した場合：直ちに拭き取り、石けん水で洗い落とし、痛みや外傷等がある場合は、医師の診察を受けること。
 - 吸入した場合：空気の清浄な場所で安静にし、必要に応じて医師の診察を受けること。
 - 飲み込んだ場合：直ちに医師に連絡すること。無理に吐かせないこと。
- 漏出時や飛散した場合は、砂、布類(ウエス)等で吸い取り、拭き取ること。
火災時には、炭酸ガス、泡、又は、粉末消火器を用いること。

保 管

- 指定容器を使用し、完全にふたをして湿気のない場所に保管すること。
- 直射日光、雨ざらしを避け、貯蔵条件に基づき保管すること。
- 子供の手の届かない場所に保管すること。又、関連法規に基づき適正に管理すること。



アルミ容器への移し替えは絶対に行わないでください。
(化学反応により容器が膨張したり破裂することがあります)

廃 棄

- 本品の付いた布類や本品のかす、及び、使用済み容器を廃棄するときは、関連法規を厳守の上、産業廃棄物として処分すること。(排水路、河川、下水、及び、土壌等の環境を汚染する場所へ廃棄しないこと。)

詳細な内容は、安全データシート(SDS)をご参照ください。

関西ペイント販売株式会社

関西ペイントホームページ
www.kansai.co.jp

本 社 TEL(03)5711-8904 FAX(03)5711-8934
 北海道 TEL(0133)64-2424 FAX(0133)64-5757
 東 北 TEL(022)287-2721 FAX(022)288-7073
 北関東圏 TEL(028)637-8200 FAX(028)637-8223
 東 京 TEL(03)5711-8905 FAX(03)5711-8935
 中 部 TEL(052)262-0921 FAX(052)262-0981
 大 阪 TEL(06)6203-5701 FAX(06)6203-5603
 中 国 TEL(082)262-7101 FAX(082)264-3285
 四 国 TEL(0877)24-5484 FAX(0877)24-4950
 九 州 TEL(092)411-9901 FAX(092)441-3339



※製品改良のため仕様は予告なしに変更することもございますのでご諒承ください。

ご用命は

(18年06月16刷PKO) カタログNo.664